

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
(以下「ディズニー」という)
第五回ディズニー・チャンネル放送番組審議会
議事録

開催日時 : 2005年9月30日(金) 17:30~19:30
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ
ショナル ジャパン
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7
出席審議委員数 : 6
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三(議長)
木下 美子
中川 眞也
前田 耕作
柳生 純麿
湯川 れい子

その他、ディズニ : エディー・カックス
ーからの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)
待鳥 雅之
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)

- 議案**
- 1) 放送番組審議会規定について確認 (トゥーン・ディズニー開局にあたり)
 - 2) トゥーン・ディズニー概要について
 - 3) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付した。)
「みんなヒーロー!~ヒグリータウンのなかまたち~」
「スイート・ライフ」
「X-MEN (エックスメン)」
「スーパー・ロボット・モンキー・チーム・ハイパー・フォース・ゴー!」

審議の概要

1) 放送番組審議会規定についての確認

トゥーン・ディズニー開局にあたって、同チャンネルでもディズニー・チャンネル放送番組審議会規定を適用することを確認した。

2) トゥーン・ディズニー概要について

待鳥より、2005年12月に開局するトゥーン・ディズニーの概要について説明。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- トゥーン・ディズニーは2005年12月1日開局予定。
- 6-12歳の男の子をコア・ターゲット層としたアニメ番組専門チャンネル。
- ジェティックス (JETIX) というアクション・アドベンチャーゾーンを導入する。これによりアクションに富んだ作品を放送可能に。
- トゥーン・ディズニーと既存のディズニー・チャンネルの番組はお互いに重複することになるのか？
- お互い専門ジャンルが異なるため、重複にはならない。

3) ディズニー・チャンネル&トゥーン・ディズニー放送番組について

ディズニー・チャンネル放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『みんなヒーロー！～ヒグリータウンのなかまたち～』

- 子供たちが感じた印象を聞いてみたいが。
- これは3Dか？
- 3DCG。
- キャラクターたちのマトリョーシカのような外見は、子供たちに受けると思われる。
- 親と一緒に視聴すると、しつけなどが勉強できそう。
- 子供にとっては、もしかしたら漠然と見ても分からないかもしれないが、親と一緒に見て教えてあげること、困ったとき／分からないことがあるときは人に聞いてみればよい、ということを知ることが出来る。
- こういう番組を見ることによって、子供たちが他人に対する信頼感を新たに得られるのでは？
- 会話も教育的要素が多く含まれているようだ。
例えば、「ネコは磁石に引っつかない」というのは小さい子供は言われて

はじめて分かることである。

- 日本は子供にテレビを見せっ放しになるケースが多いが、それが何も生まないということが分かってきている。だが、このような番組を親と一緒に見ることで、双方が得るものがあると思う。
- 今回の作品の中でベスト。

『スイート・ライフ』について

- 日本の視聴者（ティーンエイジャー）に「スイート・ルーム」が理解できるだろうか。
- ホテルで贅沢できる。そこまでやってしまう子供らしからぬ凶々しさに對して憧れを持つ日本のターゲット層は何歳くらいだろうか？
- 日本における少子化のなかで、子供たちもホテル生活に似た生活をする富裕層も出てきている。そのなかで、ドラマの中の子供たちのような行動に憧れなどを持つようになるであろうか。
- 少子化社会ゆえに、子供たちの願望を代弁しているとも言える。
- 離婚家庭に対する考え方が、日本とアメリカでは違う。日本では、離婚には触れないのが一般的。離婚している家庭で笑いながら見られるのであれば良いが……。離婚家庭であるということは、学校現場などでは守られるべき個人情報として取り扱われている。
- 離婚は、大人の中では結構オープンに受け入れられている。小学生レベルだとセンシティブなので、名前が変わったことも秘密にしたままでいたいと希望することが多いのである。
- ストーリーとして、シングルマザーでなければ成り立たないのだろう。明るく前向きにと言うことで。

『X-MEN（エックスメン）』について

- 子供をターゲットとしているのが丸見え。少々作りが雑なのではないか。
- 制作は94/95年のものである。
- ディズニーが持つ局で放送されていることが少し意外なことに感じられた。
- ジェティックス（アクション・アドベンチャー専門ゾーン）枠での「アクション」「ヒーロー」感を出すため、というのは分かるが、違和感がある。

『スーパー・ロボット・モンキー・チーム・ハイパー・フォース・ゴー!』

- 日本のアニメに似ている印象が強い。
- 米国でも、主題歌を歌っているのは日本人。
- ジェティックス枠の看板番組のひとつ。

- キャラクターグッズの販売予定は？
- トゥーン・ディズニー開局にあわせて期間限定発売で是非やってもらいたい。

『ディズニー365』について

- 今シーズンから、番組の司会者が松岡修造氏になる。
- テンションが非常に高い。印象は良い。

その他、番組等に関するコメントなど

- ジェティックスの放送番組は、ディズニーなので過激すぎることはないと思っているが？
- 既存のディズニー・チャンネルと比較すると、アクション専門になるため、多少派手な印象を与えるが（そういう意味ではバイオレントに見えるかもしれない）、基本的に日本市場用に編集して放送する。

- アメリカのジョークは、日本では傷つく人が出る可能性がある。
- 確かに今まで日本は、そういう点ではある意味無神経に色々な番組を放送してきたかもしれない。
- 文化の異なる点なども含めて、ディズニー・チャンネルでは、そこは台本審査時に特に注意をしている。本国でもその点には気をつけているはず。米国やイギリスの放送基準は特に厳しいほうである。

- とかくアニメ・漫画というのは表現が過剰になりやすい。（車で人を轢くとペタンコになる、など）ただ、そこが面白い部分でもあるのだが・・・

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので 19:30 に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。